



貴方が俺を愛してなくても

R18  
For Adult Only



# 貴方が俺を愛してなくても

※オメガバースハロです。苦手な方はご注意ください。  
エレンがオメガガリヴァイがアルファで番のお話。





情期:始まると一週間前後続く※個体差がある。  
発情期が始まるとオメガは性交に備えて粘液を生殖器で作り始める。  
数日間にわたってほぼ休みなく性交は行われる。

番について:

番とはアルファとオメガ間に発生する本能から互いを欲し合う関係。  
オメガは番を探すために無差別に周囲のアルファに対してフェロモンを発しているとされている。

性交の際にアルファがオメガのうなじ、もしくは喉元にあるフェロモンの分泌腺を噛むことで番の契を交わす。  
これを行うとフェロモンの性質が変わり、番のアルファにしかそのオメガはフェロモンを発しなくなり  
アルファも他のオメガからのフェロモンを感じなくなる。

オメガ、アルファどちらかが死なない限り番を解くことはできない。  
アルファ側から一方的に番を解除され引き剥がされる場合、  
引き剥がされたオメガは非常に強い精神的ダメージを負い、  
発情期そのものは無くならず、二度と番を解くことができない。  
意識を失っていき、死ぬこともある。





## オメガパース基礎知識

オメガパース:この世界の人間は男と女という性別とは他にアルファ、ベータ、オメガの3つの性があり男女それぞれアルファの男、アルファの女といったように計6つの性に別れる。その性別は10代前半に検査を受けることが義務化されているため大体そこで己の性別が判明する。

ベータ:最も人口が多く、身体的特徴も行動も一般的な普通の人間。

アルファ:人口の一割程度と言われ希少種。非常に優秀な人間が多く、社会的地位の高い人間も多い。性格は強引で自己中心的、支配的なものが多く、支配欲、縄張り意識も強い。発情期はないが、発情期状態のオメガに接すると発情状態に陥る。

アルファ女性は他の女性、オメガ男性を妊娠させることが可能。

オメガ:アルファよりもその数は少ないと言われている。

身体的特徴は中性的で知性、体力面ではアルファベータに劣ると言われているが個人差がある。一ヶ月~数ヶ月おきにHeatと呼ばれる発情期を迎える。フェロモンを発し、無差別に周囲にいるアルファ、ベータに対し欲情するため発情期時の外出は困難。

オメガ男性は直腸奥に生殖器を有するため、発情期時のみ妊娠が可能である。

この状態を抑えるために抑制剤、抑制器を持つことが義務付けられている。

発情期はそれぞれ個人差があり、薬を飲めば日常生活を行えるものも少なくない。

繁殖のための道具として使われてきた歴史があり、社会的地位は多く差別的な扱いを受けることが多い。

参照:<http://sj2bbakerstreet.blog.fc2.com/blog-entry-216.html>



『運命のつがい』  
それはとても素晴らしい奇跡だと、昔誰かが言っていた

『エレン  
貴方もきつと  
いつか出会えるわ』

オレも？

ええ、そうよ  
きつと貴方も  
……

クツソ……っ



なんだよこれ……  
発情期は  
先週終わっただはずだろ……

抑制剤も飲んだはずなのに

はあ……

それは突然起こった異常事態だった

……

なんだよ……

嘘っ

だろ……

身体が  
焼けるみたい  
に  
なってる  
熱い

ヤバいっ……

ダメだ  
落ち着け……

こんな人通りの多い  
場所なんて  
発情したら……

冒険がし  
立っていら  
そうにねえ……

一体どうしちゃったんだ……  
なんでこんな急に!!

早く  
移動して  
……

動け、

だけどさつきから  
身体が動かない





本能が

ぼん

ぼん

オレの中の



ぼん

叫んでる



お前……



オメガなのか、  
エレン——

はあ……

はあ……

ド  
ン  
ッ









知ってるんだろ……









何かあれば  
俺かハンジの携帯に  
連絡をよこせ  
いいな？



ああ…

また来る



帰るんですか？



…はい、わかりました



じゃあな…

リヴァイさんの家は、  
ここじゃない。ここから少し速い  
場所にあると言っていた



10

9

リヴァイさんは  
きつと  
婚約者の元へと  
帰っている



リヴァイさんは  
そういつた話は  
一切してくれない

リヴァイさん...  
アルファ...

ただ、この与えられた家に  
来ではオレを抱くだけ...



その家には将来を  
約束した人がいるとか

その許嫁も  
家柄のしつかりした  
アルファの女性らしい



いまだか会った  
数人の部下と名乗る人が

リヴァイさんのお家は  
代々続く立派なアルファの  
家系で

オレの家は、もうない



あの日気が付いたら  
このマンションに  
連れてこられていた。  
次の日にはアパートは  
すでに解約されていて

もうオレの帰る家は  
何処にもなくなっていた

父さん、母さんも

疾うの昔にいない



大学に行くことは許してやる  
だが発情期の期間は  
この家から一歩も外へは出るな

オメガは  
アルファの物という  
言葉がよく分かる

Ωであるオレには  
アルファからの言葉は  
絶対でだった

今日からお前の家はここだ

…でも

綺麗なところ…

こんなに広くて

…寒い



番にしろくも、色んなとαがいる

Ωは本能からαに特別な感情を抱くことが多いらしい……

でも、αは違う。

αはΩを選べる。  
番になるか、番にならないかは  
αが決めるというていい。

中には性欲処理として  
Ωを扱う者も少なくない。

リヴァイさんも  
もしかしたら  
そうなのかもしれない……なんて  
考えたくねえけど……

現に

……  
トボ

オレはリヴァイさんと  
番の契りを交わしていない



もうすぐ発情期だ



オシの場合、発情期は  
風邪に似たような症状が出る

微熱が出て、  
体がまともに動かない。

ああ、なら薬と食材を  
買いためておかないと...



薬を飲めば  
多少は抑えることができる。



ただここ半年の間に  
二回来た発情期の時は  
外出を禁止されていたし  
その必要もなかったけど

発情する相手がいなきゃ  
ただ苦しいだけの期間だ

そう  
発情期の期間









見張られているみたいだ……

…仕事か？  
忙しそうだな…

ハンジさんが  
なんの仕事してるかは  
知らない

すぐでないと  
嫌い奴なんだ  
ごめんね

お、電話だ

ちよつとまってて  
エレン

あーごめん  
顔に出ちゃってる？

ええちよつと

ハンジさん  
なんか忙しそうですね  
寝不足そうだし

そうなんだよ  
今持つてる仕事が大  
詰めを迎えそうだね

早く終われ  
いいんだだけ  
中々ねー

終わったら旅行行きたいね  
エレンも一緒に行こうよ  
この間、大昔の遺跡に  
行ってたじゃない？

？







番のいないオメガにとつて  
薬を飲むことは義務だ

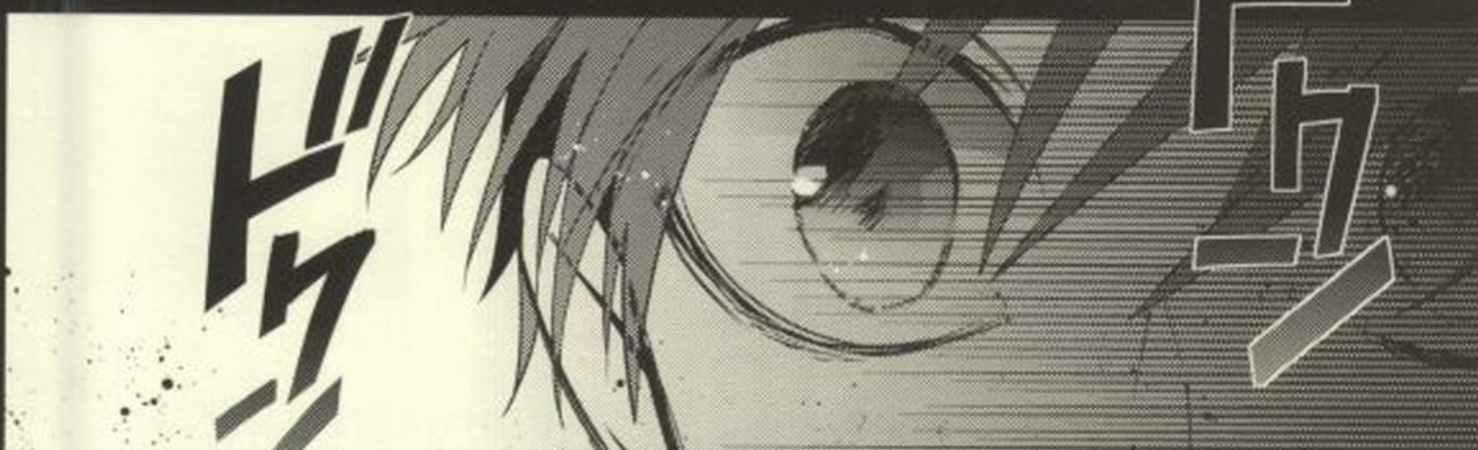
それは番を探すためフェロモンを  
手当たり次第にアルファに  
ばら撒く厄介な存在だからだ

いや番が現れても

契りを  
交わさない限り…

それは一生続く制約だ

番が現れない限り





あれがリヴァイさんの

女の

リヴァイさん…？

人だ…

運命の番なんて

大嘘だ

本当は  
いたんだ…っ





リヴァイクくん、  
今日の店とてもよかったよ  
さすがリヴァイクくんが  
見立てただけはあるね

今夜どうだい？  
うちの娘を連れて  
帰ってもいいんだよ

ありがとうございます  
そういつていただけ  
光栄です

まあ、  
お父様ったら

いえ、そういうことは  
結婚してからと  
決めていきますので

はは、相変わらず  
リヴァイクくんは  
堅いな

じゃあ、また  
連絡するよ

はい、また

誰がお前の娘なんて  
抱くかよ……

キラッ



リヴァイさんには  
許嫁がいる

番は必要ないんだろう

じゃあ、あの人は  
オレをここに  
閉じ込めて  
何がしたいんだ？

リヴァイさんが  
何を考えてるか

オレには  
さっぱり  
分からねえ……

反吐が出る……っ





アルミン…

…どうした？  
アルミン

やあ、エレン

学校休んでたからさ  
どうしたのか  
心配になってね

あー…悪い  
ちよっと体調悪くってさ  
もうすぐアレになるし…

……エレン  
あー…

最近悩んでた  
みたいだったけど  
もしかして…

番の人と  
上手くいって  
ないんじゃないの？

……そんなことねえよ  
大丈夫だって

僕はね

最近のエレンは  
らしくないから  
見てられないんだ







リヴァイさんのことを  
知らないのも当たり前だ  
あの日連れられて  
このマンションに住むようになって  
なつた日から

何も、リヴァイさんに  
伝えてなかつた



カキヤッ





エレン、  
起きてたのか

すごい匂いだな…

お前…

…っ  
はい、ちょっと  
友達と電話してて…

あつ、二日後くらいには  
発情期が来るので…っ



伝えなきゃ…っ

あ、あのすみません、  
オレ

部屋に…っ



いや

んん…

オレのことか



リヴァイさんの  
一杯、

ふっあ…

っんっ…

知りたいつて  
思つてゐることも  
…っ

クモ…

……







噛んで……っ

トクン……ッ

オレ、貴方の

はま……っ

オレを  
好きになって欲しい

ください……っ

番に  
なりたいんです……っ

選んで欲しい


リヴァアイさん……っ

あの人  
じゃなくて

喉を……っ

エレン





それは  
出来ない

なんで……っ



エレン  
今はダメだ

だうたらら……っ

ズキ  
ズキ  
ズキ

今……っ

何んだよ……っ

ズキ  
ズキ  
ズキ

……っ

ズキ  
ズキ  
ズキ

……っ



結局  
それ以外  
聞けなかつたな…

もつと  
聞きたいことは  
あつたけど  
頭が真っ白に  
なつちまつた…

やっぱり  
許嫁のほうが  
大事だよな…

当たり前だ、ずっと  
昔からの  
決められた人だつて  
聞いた

ほつとてきた  
オレ、なんかより…

端から  
勝ち目なんてない…

贅沢なのか…？

本能で、縛るだけじゃなく  
心までほしいなんて、

何が、運命の番だ

本当の番にも  
なれない癖に

オレの

いる意味つ

ホッ



何なんだ——？



エレンくん……？

んーん



今からお出かけかい？  
一体どこに……



え……

モブキャストさん

はあ、まあ……

ちよつと気分転換に  
街でもいこうかなって

え、でも

エレンくん  
もうすぐ……



この人あの時  
オレに  
リヴアイさんの事  
教えてくれた

ワス...ッ

ハンジさんの  
部下の...

いいじゃないですか  
気分転換も大事ですよ

ちようど僕達も  
用があまりましてね  
街まで  
お送りしますよ

え!?  
ちよっと  
まずいんじや...

いいですか?


……この人?

はあ...






少々問題が出た、リヴァイ



問題？  
何があったエルヴィン



それが終われば、リヴァイ  
お前の問題は  
全て片付くだろう

向うがアレの存在に  
気付いたらしくてね  
早急に手を打とう

まったく  
鬱陶しい豚どもだ…  
さっさと潰しちまおう

リヴァイ



焦ってはいけないよ

は  
何年待ったと思ってる…

フツ

少し待つくらい  
どうってことねえよ

ようやく手に入る

すみません…!!  
報告します!

どうした  
ペトラ

モブリットさんに持たせてる  
通信機から緊急信号が

エレンが何者かに  
連れ拐われた  
可能性があります

どうやら、  
あちらが先に手を  
打ってきたみたいだな











はあ！  
喉をかんでつて  
言われて拒否したつて！  
なにしてんの!?

それはΩのエレンに  
とって告白じゃない！  
好きって言われたのに  
こっぴどく  
振ったようなものだよ!?

わかってる

俺はまだできないといった。  
今はその時期じゃねえからだ

は？だったら  
いつするのさ

馬鹿言え  
まだ全てに  
カタが付いてないだろうが

今オレの体質が  
変わるの  
はまずい

目処が立ってから  
俺は番の契りを  
かわそうと思っ  
ている

あ――







ほかのαに奪われちゃうよ

らてて……っ

モブリットさん  
大丈夫ですか？

平気だよ  
エレンくん

ごめんね  
うまく言えないんだけど  
今仕事で追ってる  
人間の仕業だと思うんだ

でも、オレのこと  
かばって……  
こんな  
殴られて……っ

いやいや、  
君を巻き添えにして  
傷でもつけたら  
自分の首が  
飛ぶからね……！

平気……平気……

といつても



狙いは完全に  
エレン君と  
いったところか

困ったな...

大丈夫、  
君はなんとしても  
僕が守るよ

まさかうちの  
メンバリの一人から  
裏切りが出ると思わなかった  
一体どこから潜り込んでんだか...

彼は昔からいる  
メンバリの存在は  
知られていないけど...

僕には  
発信機ついてるから  
きつとも  
すぐわかって  
仲間が来るからさ!

意地でも  
守らないと  
リヴァイさんに  
殺される...!!

やられる前に  
緊急連絡用の携帯でも  
発信することはできたから  
きつとペトラくんが  
気付いてくれたはず...

トホ...

そうだった...

トホ...



エレンくん、大丈夫かい？

もうすぐ……

発情期がくる

モブリットさん達と合流した後  
我は返つてスボシのホケツトに  
常備してあった薬を飲んだけど……

モブリットさん  
迷惑な件は  
なかったし！

それっきり  
夜の分は  
まだ飲んじやいねえ……

これさえ  
飲めれば……  
まだ……っば……

このままじゃ  
まずい……っ

薬を飲まずに本格的に  
発情期に入るなんてこと  
なったら……っ

早く……っ

飲まねえと……っ





まさか逃げようなんて  
考えてねーだろうな



何こそこそしてやがる!



さっさとここから出せよ!  
オレに  
なんの用があるってんだよ!

何もしてねえよ!



生意気いいやがるぜ  
こんなくせえ匂い  
垂れ流してる  
かわいいオメガちゃんの  
くせによお

この匂いもうすぐ  
発情期ってとこか?

まさか、こいつ  
アルファか!?

アルファか?!



やめないか!

うるせえ  
お前には  
用なんてねえんだ!!

こんな子供に  
何をするつもりだ!

この野郎……

?!

ぐっ……!

モブリットさん……!

ぐあ……っ!



お前は大人しく  
しとけばいいんだよ……!

このクソガキが！  
何しやがる!!

ちよ、おい  
大丈夫か!?

早くしろって  
あの方から  
頼まれてるってのによ

ったく……  
手間取らせやがって

一人伸びちまった  
じゃねえか……

あい……っ

嘘だろ……

こんな……



こんな時に

側にアルファが  
いるって  
いうのに！

始まったのかよ

……っ！

カタッ

カタッ

なんだよ、これ……

……っ！

誘いやがって

ダメだ  
どんどん  
身体が熱  
くなっ  
てくる……

そんなに  
襲って  
欲しい  
のか？

いやっ……

触んな……

ちがつ……



番のいないオメガは、  
無差別にアルファを引き寄せる……

見ろよ、これ  
お前の匂い  
嗅いだだけで  
勃ちちまった

あ……

はあ……

はあ……

やめ……

すぐにでも……っ  
入れちまいてえ……っ

……

ひっ！

やだっ！

嫌なのに

や……

はあ……

はっ

嫌だっというながら  
もう顔は  
とろとろじゃねーか

オメガは  
便利でいいよな……

うあ……

はあ……

はあ……

思うように  
動かねえ……

……

すぐ濡れちまう……

何、人の番に  
手え出してやがる

リヴァイさんじゃない  
嫌だっつて  
本能は叫んでるの……  
身体がもう……









少し…  
殴られただけで

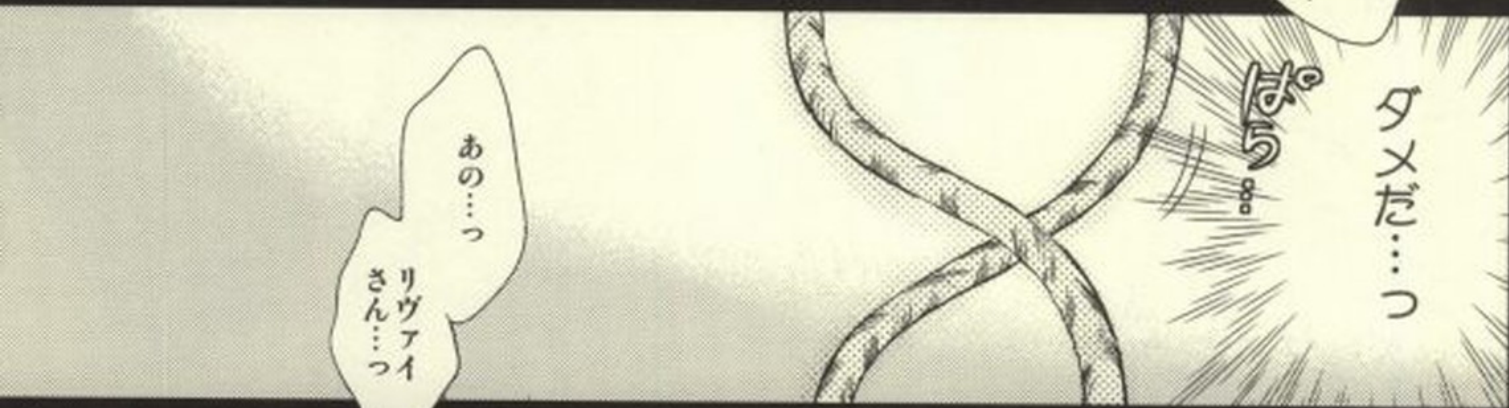
あとは  
全部  
モブリットさんが…

はる…

そうか…  
モブリットに  
礼をしねえとな…

おい

モブリット  
大丈夫？



ダメだ…っ

ぱら…

あの…っ

リヴァイ  
さん…っ



すみません  
オレ…っ

カク…っ

今  
発情期に…っ  
入ってしまった…

早く  
離れてくださ…!

すいけない  
薬を…っ

意識が  
持っていないが  
前…

分かってる…っ



すげえ、匂いだ……

すぐ  
食っちまいてえ……っ

っ！

リウアイさ……っ

お  
おれのフエロメンが  
……っ！



リヴアネさんに  
影響して……っ

いっ、エレイン

もうすべて  
終わった

だからお前を  
俺の番にする

いいか？

え

……っ

ちや  
びし  
し



え……っ

今……なんて……っ

……っ  
悪い、すぐに  
運んでやる

後始末  
頼んでいいか？

ハンジ



ああ、うん任せなつて  
あとでエルヴィンも  
来ると思うしさ

尻尾も無事挿んだし  
発情期明ける頃には  
どうにかしておくよ

ちゃんとエレンを  
番にしてやってよね♡

ああ、すまねえな


ペトラ、エルド

はい！


少しの間だけ  
お前らにも任せる

番が発情期に入った





はい！  
お任せください！




すず...

んっ...

はあ...

ごめんなさい  
リヴァイさん

オレもう、  
身体が...んっ



いいって  
言ってるんだろ  
謝るのは  
俺の方だ...

怖かっただろ  
巻き込んで悪かった...

後で  
説明してやる...  
それより

.....?







元より

お前以外に  
興味ねえ

カリッ





……  
……  
……





ほら、お前も噛め…

あ……っ

……っ



痛かったか…？

……っ

んんん…っ











俺はまだ  
子供はいらねえ

邪魔されたく  
ねえからな……っ

しばらく  
二人でいいだろ……？



なあ、エレイン

満ちていく

それで  
いいだろ……っ？

ん……

セックスなら  
たっぷりしてやる……

ひゅ……ん

リヴァイさんで

中が

はま……  
はい……っ  
オレ  
もっとな

キゅっ♡

身体も

もっと  
リヴァイさんが  
欲しいっ

はま……

嬉しそうな  
顔しやがって……

はま……

はま……



頭の中

やっ

もう  
リヴァアイさ……っ

イツちや……っ！

あつ

ああ、何度でもイけよ  
エレンっ

今はそれだけ  
いっぱいだけで

ひめめめ











ハッハッハ

.....



ガラ

……っ  
エムン……っ

ト  
ト  
ト  
……  
ン

エムン……っ

……？

リヴァアイさ……ん？

はあ……

はあ

はあ……

……泣いてる？

贈収贈を行ったと  
される事件の  
続報です



相次いで関係者が  
地検により  
逮捕されておりますが

グループ全体で  
事件に絡んでると見て  
検察関係者は……

会長辞職を  
求める声が……

リヴァイさんに  
膝枕  
されてるんだろ……？

発情期が  
明けただけだと……  
なんでオシ……

ハンジさんには  
甘えとけって  
言われたけど……

リヴァイさん  
家に帰らなくて  
いいの……？

いいんだよ！



何年も探し求めてきた  
お姫様を  
ようやく可愛がられる  
つてはしゃいでるんだからさ！

許してやって！

？

そんなに  
番に  
会いたかったんですか？

ん……

違うよ  
リヴァイは  
エレンに  
会いたかったんだ

ずっとね


あいつも  
アルファだらけの  
家で色々苦労してただけと

それが  
ようやく  
終わったってわけ！

リヴァイも  
ミカサに  
感謝しなくっちゃねー


えっと……





ミカサですか…？


オレの友達に  
なんの関係が…？



ふふーそれは  
また今度教えてあげるよ

リヤイの空をみる

長い長い話になるんだ。



最初からずっとエレンは  
愛されていたってことさ！



